

報道関係者各位

県民へのクマに対する注意喚起について

本日2月6日（木）午後2時頃、鶴岡市少連寺地内の山中にて狩猟中の方が、クマに襲われる事案が発生しました。県内では今年初めての人身被害となります。

先日の新庄市、酒田市における市街地出没など、今冬はクマの出没件数が多くなっており、今後も人身被害が発生するおそれがありますので、以下を参考に、あらためて県民に注意を喚起して下さるよう御協力をお願いいたします。

記

○ クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。また、複数で行動するようにしましょう。

クマにとっては、人は侵入者だということを忘れずに、周囲に十分注意してください。また、クマも餌に夢中になって、人の接近に気がつかない場合があります。山や林に入るときは、ラジオやクマ避けの鈴、笛など、音の出る物で、自分の存在をクマに知らせましょう。また、山中では単独ではなく複数で行動するようにしましょう。

○ クマの出没情報があったところには近づかないでください。

県ホームページ「山形県クマに関する情報」－「クマ目撃マップ」に出没情報を掲載しています。（[山形クマ](#)で検索）

○ 子連れの子グマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

○ 万一、クマに出会ったら、落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。

（市販されているクマ撃退用スプレーの使用も有効です。ただし、使用するに当たっては注意事項をよく御確認ください。）

○ 餌となる取り残しの果実を撤去してください。

また、餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。

○ 市街地周辺の藪などは刈払うようにしてください。

(参考)

山形県内におけるクマによる人身被害 令和6年：3件

令和7年：1件（この度の人身被害含む）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(担当)

環境エネルギー部みどり自然課
課長補佐(野生生物対策担当) 佐藤

TEL : 023-630-3042

〔報道監〕

環境エネルギー部次長

遠藤